

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

第76号

発行元



株式会社三栄サービス

発行人 紺野 琢生



**誤排出、誤回収の防止に
協力をお願いします。**

○大事なものを間違えて出さないようご注意ください

時々お問合せを頂くのですが、大切な書類を間違えて出してしまった、捨ててはいけない衣類を古布に入れてしまったが見つからないか？というものです。

結論を申し上げますと、大変申し訳ございませんが、見つかる可能性は低いです。古紙は回収され当社に入荷するとすぐに選別をしたあと、攪拌器でバラバラにされ、およそ一トンの塊にプレス加工をします。その後、早



プレス機から
出てきた古紙

ければ翌日、少なくとも数日中には製紙メーカーに出荷されます。回収車から荷下ろしする前であれば、見つかる可能性がありますが、パッカー車で回収された場合には圧縮されているので、難しいかもしれません。発生原因としては、大事な書類やへそくりを新聞整理袋や雑誌の間に挟んでおいたのを忘れて出してしまうケース、家族の他の方が大事な書類とは思わずに出してしまうことがあるようですので、十分ご注意ください。

こともあるのですが、袋に入っていて気が付かなかったりそのままラインに流れて行ってしまいうこともあります。この場合、製紙会社で品質トラブルになる恐れもあるので、紙以外のものは間違っても入れないようにご注意ください。

次に、古布は、当社では選別せず、そのまま大きなカゴに詰め込みます。放り込むだけでは隙間が出来ますので、踏み込みながら詰め込んでいきま



カゴに詰め込まれた古布

と、誤回収を防ぐことが出来たので、ご協力お願い致します。また、最近では置き配といって、通販の荷物を玄関先に置いていくシステムが一般化しています。資源に出された段ボールの上に置き配が載っていたなんてこともありました。置き配を指定する際には、配達日、置き場所の指定にご配慮頂けると助かります。宜しく願います。



回収に出した段ボールの上に置かれた『置き配』

片付け用に取り置きしていた段ボール、クリーニングに出す予定だった衣類、陰干しをしていた漫画本などが実際にありました。回収日に回収員から見える場所に紙や袋に入った衣類が出ていますと間違えて回収してしまうことがあります。これは資源ではないことが分かるように明記して頂く

計報

当社のお客様で(有)フジノの藤野理広様が八月二五日に享年五十歳でご逝去されました。十年ほど前に会社をたたまれて、一部の業務は当社で引継ぎをさせて頂きました。その後ご自宅療養されていると聞いておりましたが、再会を果たせないまま悲報に触れることになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌